

# 【社会・中3 公民的分野・「国の政治のしくみ」】①

## 育成を目指す資質・能力

- 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることを理解するとともに、情報を効果的に調べ、まとめることができる。
- 民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。
- 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる諸課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとするとともに、国民主権を担う公民として自国を愛し、その平和と繁栄を図ろうとする。

## ICT活用のポイント

課題を追究する場面において、電子ホワイトボードツールを用いて、班同士で考えをまとめる活動を行うことによって、対話が促され裁判所の役割に気付くことができる。

### つかむ

裁判員制度のしくみを復習し本時の課題をつかむ

**【課題】裁判員制度の模擬体験をして、裁判所の役割を説明できるようにしよう。**

### 追究する

- ICT活用場面①  
事件について裁判員の立場からグループで話し合い判決を下す
- ICT活用場面②  
模擬裁判の体験を基に裁判所の役割を話し合う

### まとめる

- ICT活用場面③  
本時の課題に対するまとめを確認し学習内容を振り返る

## 事例の概要

物語『三匹の子ぶた』の3番目の子ぶたの裁判を想定し、裁判員として判決を下す活動を基に、裁判所の役割を話し合う。

### 【ICT活用場面①】

学習支援ソフトを用いて多様な視点から事件について話し合う活動を設定することで、クラスメイト全員の考えを共有する。

### 【ICT活用場面②】

電子ホワイトボードツールを用いて、班員一人一人の意見を出し合いまとめることで、対話を促し、考えを深める。

### 【ICT活用場面③】

本時の学習を振り返り、学習支援ソフトに投稿することで、気付きや疑問を共有する。

# 【社会・中3 公民的分野・「国の政治のしくみ」】②

## 【 ICT活用の場面① 】 判決について考えを共有する

刑法36条の「急で不正な攻撃」だから、正当防衛で無罪だと思う。



計画性がみられる。  
有罪ではないかな？

## 【 ICT活用の場面② 】 裁判所の役割について考えを深める

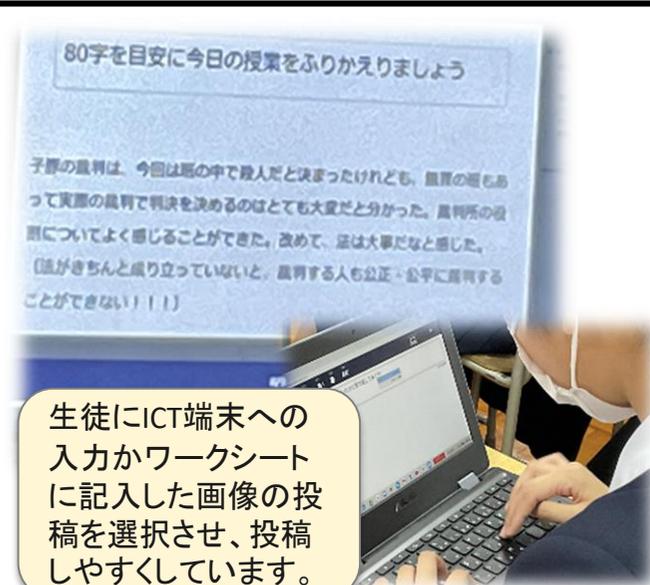


5班  
裁判所には

公平に判断し、判決を出す  
人権を守るために慎重に話し合いをして正しい判決を出す  
法のみ従うことで誰に対しても公平な裁判を行う

【教師の追発問】  
公平な裁判のために  
何が大事でしょうか。

## 【 ICT活用の場面③ 】 各自の振り返りについて共有する



80字を目安に今日の授業をふりかえりましょう

子供の裁判は、今日は悪の中で殺人だと決まったけれども、裁判の場もあって実際の裁判で判決を決めるのはとても大変だと分かった。裁判所の役割についてよく感じる事ができた。改めて、法は大事だなと感じた。（法がきちんと成り立っていないと、裁判する人も公正・公平に裁判することができない！！）

生徒にICT端末への入力かワークシートに記入した画像の投稿を選択させ、投稿しやすくしています。

実際の裁判を想定し判決を下す場面で、**多様な視点**から事件について考えることができるように、**学習支援ソフト**を用いて**学級全員の考えを共有**しました。

各班では、安易に判決を下すことがないように、画面上にある意見について**根拠や理由を確認し合い**ながら、検討を深めました。

このような対話活動をとおして、裁判の有用性や裁判の難しさに気付くことができました。

判決を下した体験を基に、裁判所の役割について班で話し合いました。

各自で教科書、資料集、インターネットなどで調べたことを根拠に裁判所の役割をワークシートに記入し、**電子ホワイトボードツール**を用いた**対話をとおして班全体の考えをまとめ**ました。

学級全体での共有では、各班の内容について、**教師が追発問**しながら考えを深めました。

最後に、本時について**学習支援ソフト**に**振り返りを投稿**しました。

**意図的指名**により**数名の生徒が振り返りを発表**することで、裁判所の役割や裁判員制度の意義について**全体でも気付く**ようにしました。

自分の班の判決と他の班の判決が異なっていたことから、実際の裁判で公正に判断し判決を下すことの大変さや、判決の拠り所となる法の大切さについて、改めて気付くことができました。